

広
報

しらかわ

6

2016
No.127

◎特集
高齢者福祉事業
— 老後を笑顔で迎えるために —

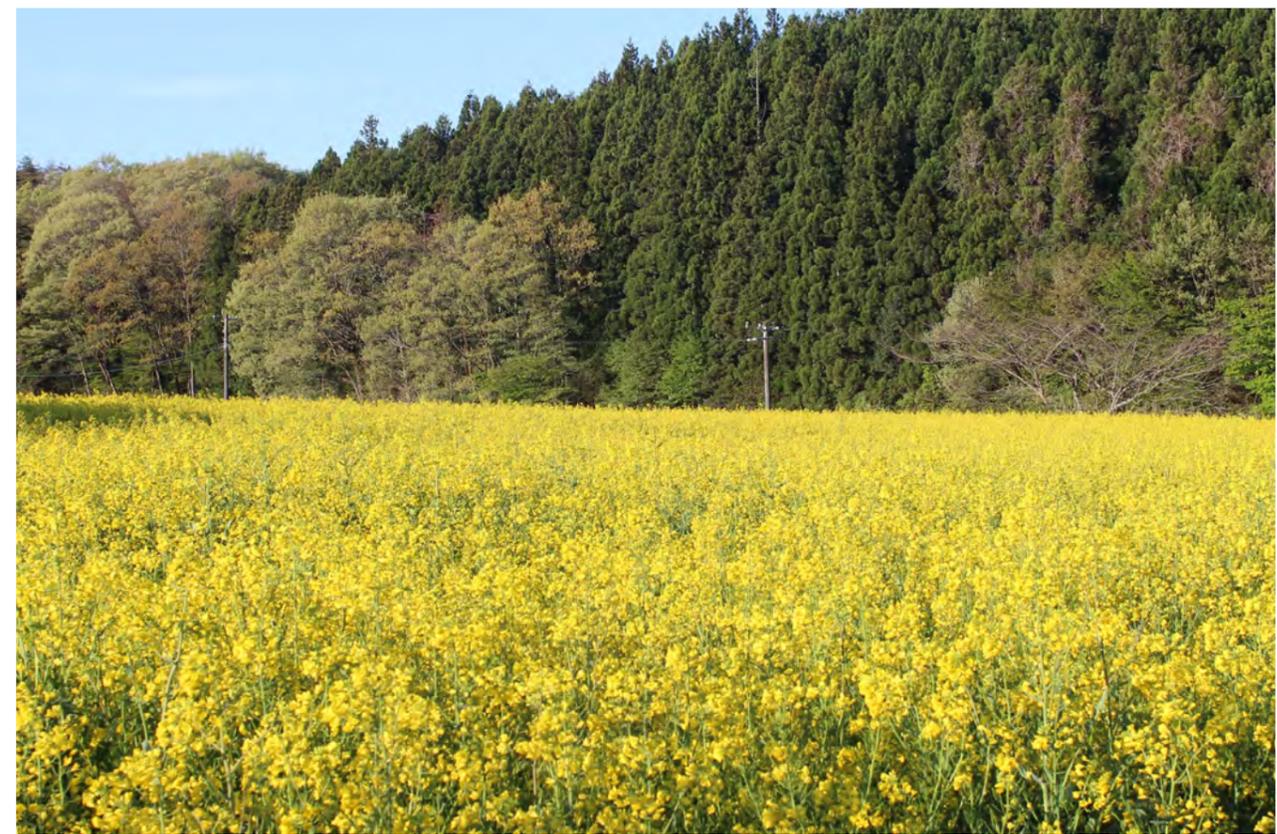




特集
老後を笑顔で迎えるために

住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしたい。これは誰もが思うことです。この願いをかなえるため、地域が一体となって、高齢者を見守り、支援する取り組みが行われています。

「若い」は他人ごとではありません。3人に1人が高齢者となる日も近い将来。老後を笑顔で迎えるために、今できることは何か、一緒に考えてみませんか。



「菜の花畑」(4月29日/東下野出島)

目次 - CONTENTS - 2016. 6. 1 No.127

- 02 季節の写真/今月の表紙/目次
- 03 特集/老後を笑顔で迎えるために
- 08 Topics
- 10 Information 1 /平成28年度当初予算
- 12 Information 2 /歴史的風致維持向上地区計画 ほか
- 14 ラウンジ~様々な情報をお届け~
- 16 図書館情報
- 17 白河文化交流館「コミネス」情報
- 18 施設情報/歴史民俗資料館、集古苑、市民会館 ほか
- 19 白河が誇る優れた産品を紹介!/白河歴史人物伝
- 20 暮らしの情報館
- 24 子育て情報
- 25 保健情報
- 26 日曜窓口・納期限/人口/献血 ほか
- 27 市長の手控え帖
- 28 今月号の締め一杯/人物Report

今月の表紙



今月号の表紙は、4月30日に行われた「第21回権太倉山山開き」で、手作りの登山用の杖、約1,000本を市に寄贈した、金子弘忠さん(小田川・84歳)と妻良子さん(85歳)です。

杖作りが大好きという弘忠さん。健康の秘訣は近くの山に出掛けることです。弘忠さんが杖を作る様子を優しく見守る良子さんが印象的でした。



▲介護施設で入居者の方と会話をしている岡部さん

岡部光勇さん（真舟）

退職後、自分自身の健康づくり、生きがいづくりのため、この活動を始めました。週1回、介護施設でシーツの交換や入居者の方のお話し相手などを行っています。この活動を通じ、様々な人と出会えたことが大きな喜びです。



生きがいづくりで介護支援

自分自身の生きがいづくり

市では、高齢者の社会参加活動を通して介護予防を推進する取り組み「介護支援いきいき長寿ポイント事業」を、昨年9月にスタートしました。高齢者が介護施設や要介護高齢者の自宅などで介護支援活動を行うと、活動実績に応じて評価ポイントが貯まり、最大5千円まで換金することができます。活動内容は、散歩の補助や話し相手など、特別な知識や



1. 口腔のケアについて講師から学ぶ（あったかセンターひだまり） 2. お茶を飲みながら楽しく歓談（あったかセンター久田野） 3. ラフターヨガで講師とハイタッチ（あったかセンター中新城）／高齢者サロンあったかセンター事業

新たな高齢社会を迎えて

4人に1人が高齢者

世界に類を見ない速さで高齢化が進んでいる日本。団塊の世代（昭和22年から24年生まれ）が65歳を迎えた今、国民の4人に1人が高齢者（65歳以上）となっています。

本市の人口は、平成28年4月1日現在で6万2532人。うち65歳以上の高齢者数は1万6290人で、高齢化率は26.1%。

今後、総人口が緩やかに減少していく中、高齢化率は伸び続け、団塊の世代が75歳を迎える平成37年には、31.7%になると見込まれています。

一人暮らし高齢者の増加

平成27年度に市が実施した調査では、70歳以上の高齢者のうち、一人暮らしの高齢者数は1980人で、約6人に1人となっています。また、75歳以上の高齢者のみの世帯

は647世帯で、高齢者の核家族化がうかがえます。

高齢者の生活の実態

市では、平成26年に高齢者の日常生活の状況や健康状態、介護・福祉サービスに対する意見を把握するため、65歳以上の高齢者の方を対象に、「日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。

この結果から、「普段の生活で介護・介助の必要がなく、日常生活を送っている高齢者が多いこと」「日中一人で過ごす高齢者が増えていること」「将来自宅での介護を希望している高齢者が多いこと」が分りました。

また、「町内会・自治会、老人クラブ、趣味のグループなど、地域活動に積極的に参加している高齢者が多いこと」などもうかがえました。今月号では、高齢社会を元気に過ごし、介護予防につながる取り組みを紹介します。

技術はいろいろな簡単なものです。参加者の中には、ポイントよりも自らの生きがいや介護予防のため、この活動に参加している方もいます。

居場所づくりで介護予防

高齢者が寂しさや不安を感じたり、孤立することがないように、参加者同士が楽しく交流できる居場所を提供しているのが、今年で7年目を迎える「高齢者サロンあったかセンター事業」です。

高齢者が歩いて通える地域の集会所などを利用し、月に1・2回、歌や体操を楽しんだり、講師を招いて健康講座などを開催しています。サロンを運営するのは、ボランティアの高齢者サポーターと協力員。年1回開催される養成講座を受講すれば、誰でもサロンを開設することができます。介護予防事業として運営費の一部を市が助成しています。現在、市内27か所にサロンが設置され、180人の高齢者サポーターがそれぞれの地域で自主的に活動しています。高齢者と地域をつなぐサロンの輪が広がっています。

高齢者サポーター養成講座

高齢者サロン「あったかセンター」の運営に協力していただける方を募集しています。講座を受講して、サロンの運営に参加してみませんか。

- 日時 7月 8日(金)／午後2時から15日(金)／午前10時から
20日(水)／午後2時から29日(金)／午後2時から
※全4回・各回90分程度
- 会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
- 対象者 すべての講座を受講できる市内在住の方で、講座終了後ボランティア活動ができる方
- 申込期限 6月30日(休)まで ※申込者には後日、詳細をお知らせします。
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎高齢福祉課 内2729

高齢者サロンで聞きました

あったかセンターひだまり（東坂本）



高齢者サポーター 佐久間和子さん

きっかけは市が実施していた保健事業を引き継いだことでした。初めは何をすればいいのか分からず不安でしたが、自分も楽しめるメニューを取り入れたら好評で、今では次に何をやるか考えるのがとても楽しみです。



参加者 佐久間正章さん

みんなで集まることが楽しみです。普段、地域の方と顔を合わせる機会も少ないので、月に2回のサロンを心待ちにしています。みんなで歌を歌ったり、一緒に体を動かすことで、サロンの後は心身共に健康になった気分です。

あったかセンター中新城（大信中新城）



高齢者サポーター 戸倉和子さん

無理せず気軽に月1回運営しています。昨年立ち上げたばかりなので、講師の先生を呼んで体操したり歌ったり、いろいろ勉強しながら活動しています。皆さん元気な方ばかりで、次のサロンをとっても心待ちにしてくれています。



▲血圧測定で健康チェック（あったかセンターひだまり）

認知症高齢者の増加が見込まれる中、必要な医療や介護のほか、日常生活の支援の充実が求められています。

認知症に対する市民の理解や関心は高まっていますが、まだ十分とはいえません。多くの人が認知症に関する正しい知識と理解を深めることが、本人やその家族を支えることにつながります。

このため、市では、認知症の人や家族を応援し見守る「認知症サポーター」の養成、認知症高齢者や家族を支援するボランティア「あんしんメイト」の活動を推進しています。



▲高齢者サロンで開かれた認知症サポーター養成講座（あつたかセンター久田野）



認知症サポーターの証「オレンジリング」
このリングは「認知症の方を応援します」という意思を示す目印です。



▲入居者の方と会話をするあんしんメイト

Interview あんしんメイト

若名好子さん（菅生館）

自宅に高齢者がいたことから、何かの役に立てればと思い、この活動に参加しました。月に1回、5人グループで介護施設を訪問し、入居者の方と一緒に懐かしい歌を歌ったり、お話をしたりしています。



住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らし続けるために

高齢者の暮らしを支えるネットワークづくり

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるためには、医療、介護、住まい、介護予防・生活支援など、様々なサービスを一体的に提供していくことが必要になります。これを実現するネットワークの仕組みが「地域包括ケアシステム」です。

市では、NPOや地域のボランティア、民間事業者などと連携し、地域の特性に合ったネットワークの構築を、より一層推進していきます。

高齢者が活躍できる社会

新たな高齢社会を迎えた今、高齢者がこれまで培ってきた経験や技術をいかし、地域サービスの担い手となり、様々な分野で活躍することが期待されています。

市では、その活動が社会貢

献にとどまらず、高齢者自身の健康や生きがいづくりに役立ち、より健康と感じたり、生活への満足感の増加につながることから、今後とも市民同士の支えあいによる地域福祉の向上を推進していきます。

Interview

高齢福祉課 地域包括ケア推進係長 槌谷秀子さん

「地域包括ケアシステム」を推進していくためには、人と人とのつながりを大切にし、高齢者の方の生活基盤である地域をどうするか、市民の皆さんと共に考えていくことが大切です。皆さんのご協力をお願いします。



認知症は早期の対応が大切

Interview
認知症予防についてに聞きました

認知症は、ごく親しい人でないと気づかないような小さな症状から進行します。家族や親しい人にとって、身近な人が認知症であるという現実を受け止めるのは難しいことです。その場をやり過ごし、認知症への対応が遅れ、どうにもならない状態になって初めて施設に入所するケースもあります。初期の場合、投薬により症状を遅らせることもできるので、普段の生活ができる早目の段階で、医療機関を受診することも大切です。

認知症は、ごく親しい人でないと気づかないような小さな症状から進行します。家族や親しい人にとって、身近な人が認知症であるという現実を受け止めるのは難しいことです。その場をやり過ごし、認知症への対応が遅れ、どうにもならない状態になって初めて施設に入所するケースもあります。初期の場合、投薬により症状を遅らせることもできるので、普段の生活ができる早目の段階で、医療機関を受診することも大切です。



福島県認知症介護指導者
介護老人保健施設 ひもろぎの園
リハビリテーション科長 石井利幸さん

地域包括支援センター

高齢者の皆さんとその家族、近隣に暮らす人の介護や福祉、健康や医療に関する悩みや相談に専門家が対応します。

高齢者サービスを利用したい、どこに相談していいかわからない、近所の一人暮らしの方が心配など、気がかりなことがあれば、お気軽にご相談ください。

●問い合わせ先

- ▷ 地域包括支援センター（明戸） ☎ 0332
- ▷ 東部地域包括支援センター（関辺川前） ☎ 8889



地域包括支援センター
（左から）林さん、緑川さん、角田さん



東部地域包括支援センター
（左から）須藤さん、吉田さん

認知症コミュニティルーム

あつたかカフェ

認知症のお年寄りや家族、地域の人たちがお茶を飲みながら困りごとなどを話し合ったり、専門家のアドバイスを受けられる場所です。

- 開催日 6月9日・23日、7月7日・21日、8月4日・18日 木曜日/午後1時30分～3時30分
- 場所 レジデンス楽市1階（大手町）
- 参加費 100円
- 問い合わせ先 東部地域包括支援センター



▲市場関係者に白河産の農産物をPRする鈴木市長

大田市場で農産物のトップセールスを実施
白河産の農産物をPR

5月10日、東京都中央卸売市場の大田市場で、JA夢みなみの主催により、農産物の安全性と新鮮さ、おいしさをPRするトップセールスが行われました。この催しは、風評の払しょくと消費拡大を目的に行われているもので、今回で6回目の開催となります。

当日は、鈴木市長をはじめ西白河地方の町村長などが市場関係者に、ブロッコリーやフルーツトマトなどの試食を振る舞い、検査結果に基づく安全性と、それぞれの野菜の特性や味の良さを直接伝えました。



▲左から高橋さん、鈴木市長、中村さん、清原さん

中山義秀文学賞選考委員嘱状交付式
直木賞作家高橋さんらが選考委員に

5月11日、ホテルサンルート白河（新白河駅前）で、「中山義秀文学賞選考委員嘱状交付式」が行われました。

選考委員は、直木賞受賞作家の高橋義夫さん、第1回中山義秀文学賞を受賞した直木賞受賞作家の中村彰彦さん、文芸評論家の清原康正さん、第9回中山義秀文学賞受賞作家の竹田真砂子さんの4人です。

交付式では、中山義秀顕彰会会長の鈴木市長から、参加した高橋さん、中村さん、清原さんの3人に委嘱状が手渡されました。



▲激励会の様子

熊本地震職員派遣激励会
住宅被害の認定調査に携わる

5月13日、熊本地震で被災した嘉島町に職員を派遣するための激励会が行われました。

派遣された職員は、税務課資産税係の白石潤一主査と財政課管財係の大谷修一主査の2人で、5月14日から18日までの5日間、り災証明書等の発行に必要な住宅被害の認定調査に携わりました。

市では、義援金を本庁舎社会福祉課・各庁舎地域振興課の募金箱で受け付けています。お預かりした善意は、日本赤十字社を通じて被災地に届けます。ご協力お願いします。



1. 来場者と交流をしながらパレードをする、しらかわんをはじめとするキャラたち 2. 今回初登場のねば〜る君 3. ふにゃっしーのステージ 4. 鈴木市長から修復状況の説明を聞くくまモン

ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ2016
好天に恵まれた2日間。約18万5千人が来場

5月21日・22日の2日間、今年で4回目となる「ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ2016」が行われ、全国から計182体のご当地キャラクター（以下キャラ）・ヒーロー・萌えキャラが集まりました。

2日間とも好天に恵まれ、昨年を上回る約18万5千人が訪れました。会場には4つのステージが設けられ、お目当てのキャラを一目見ようと大勢の人でにぎわいました。

本イベントの目玉である「大パレード」では、約130体以上のキャラが小峰通りを練り歩き、沿道から

は声援が送られ、来場者はキャラとの交流を楽しみました。

21日には、くまモンが登場。体操を披露し会場を盛り上げ、熊本の復興に向けて元気な姿をアピールしました。また、前日の20日には、地震で石垣が崩壊した熊本城の再建に向け、東日本大震災で被災し修復作業が進む小峰城跡を視察しました。

さらに「第2回全国しゅうまいサミット」と「中テレ満ぶく祭り2016」の二大グルメイベントが同時開催され、香りに誘われた家族連れなどが列を作りました。

桜と音楽の祭典「春宴」
春の南湖公園を満喫



▲ステージで披露される三味線に聞き入る来場者

4月23日、南湖公園芝生広場で、「和」をテーマにした、桜と音楽の祭典「春宴」が行われました。

特設ステージでは、民謡や和太鼓演奏が披露されたほか、ライブアクトパフォーマンスG.R.A.C.が春の南湖公園や白河の風景を大型ボードに描きました。

また、会場では、白河だるまの絵付け体験や地元野菜を使用した料理が提供され、多くの来場者が春の南湖公園を満喫しました。ファイナルでは、花火が打ち上げられ、夜の南湖を彩りました。

平成28年度一般会計予算
377億9千万円

■予算規模の推移

年度	歳出予算額（全体）		
	通常分	除染関係分	
平成24年度	263億1千万円	260億4千万円	2億7千万円
平成25年度	366億1千万円	292億1千万円	74億0千万円
平成26年度	440億3千万円	311億7千万円	128億6千万円
平成27年度	455億6千万円	329億6千万円	126億0千万円
平成28年度	377億9千万円	297億2千万円	80億7千万円

主な最重点推進事業

人口減少を抑制し、将来にわたり持続可能な地域社会を維持していくため、本市の地方版総合戦略として平成27年10月に策定した「白河市みらい創造総合戦略」に基づく事業に重点的に配分しています。

安定した雇用をつくる

ふるさとビジネス応援事業	2,010万円
若者定着産業力強化事業	1,170万円
がんばる新規就農者支援事業	750万円

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

児童クラブ施設整備事業	1億4,500万円
多子世帯保育料軽減事業	5,300万円
白河っ子応援事業	730万円

新しいひとの流れをつくる

南湖公園史跡整備事業	1億5,150万円
周遊型観光推進事業	1,610万円
地域おこし協力隊活用事業	940万円

■公営企業会計

会計	予算額	対前年度比 %
水道事業（※）	22億1,944万9千円	43.6
工業用水道事業	1億23万3千円	△4.1
合計	23億1,968万2千円	40.6

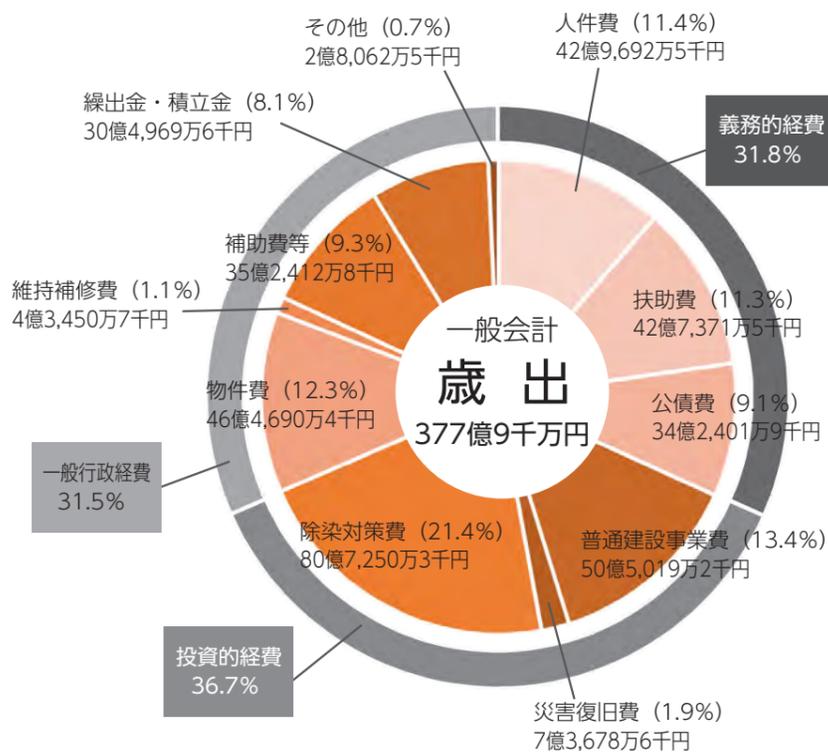
※平成28年度から水道事業に簡易水道事業を統合しています。

財政状況および財政計画の概要は、市ホームページで公表しています。

☎本庁舎財政課 内 2334



一般会計予算の概要
今年度の一般会計予算の総額は、377億9千万円となりました。大型事業である白河文化交流館「コミネス」建設事業や除染対策事業などが進捗したことで、前年度予算を77億7千万円（17.1%）下回りましたが、人口減少など喫緊の課題に着実な施策を講じるため、実効性の高い予算としました。



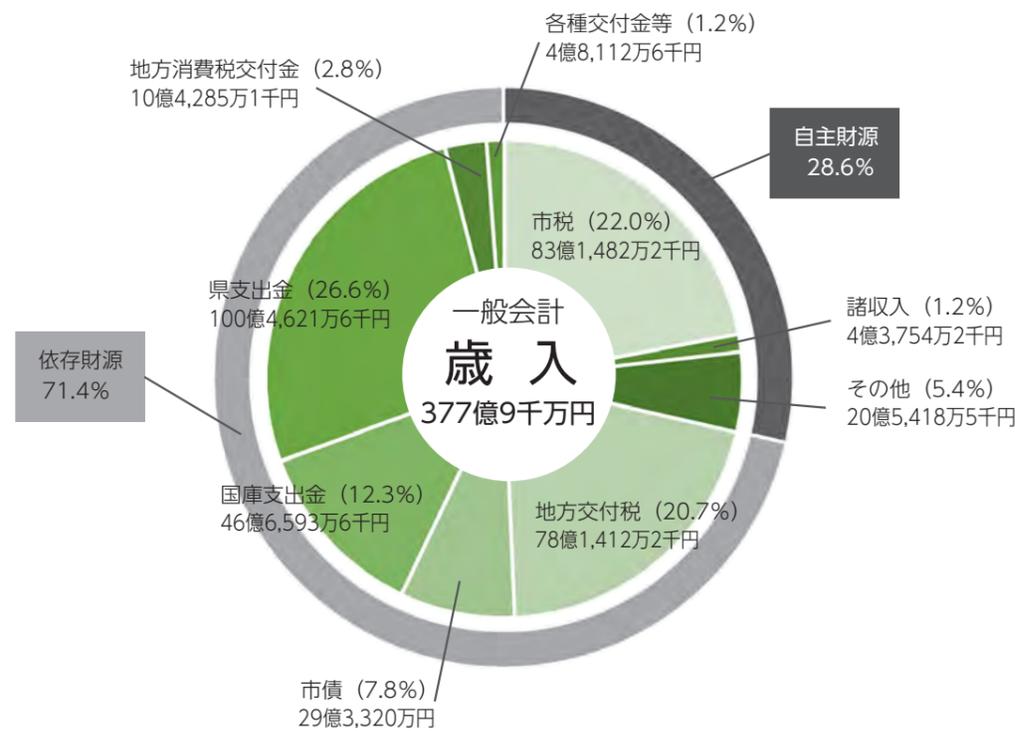
■特別会計

会計名	予算額	対前年度比 %
国有林野払受費	18万5千円	0.0
教育財産	61万5千円	8.3
小田川財産区	78万0千円	△4.3
大屋財産区	25万0千円	66.7
樋ヶ沢財産区	801万4千円	2562.5
土地造成事業	4,997万6千円	5.3
国民健康保険	75億1,315万9千円	△3.1
後期高齢者医療	5億8,840万2千円	2.5
介護保険	53億5,865万1千円	3.8
地方卸売市場	1,951万3千円	△25.8
公共下水道事業	20億7,500万5千円	0.8
農業集落排水事業	8億2,634万0千円	0.4
個別排水処理事業	8,923万7千円	△17.7
簡易水道事業（※）	0千円	△100.0
合計	165億3,012万7千円	△2.6

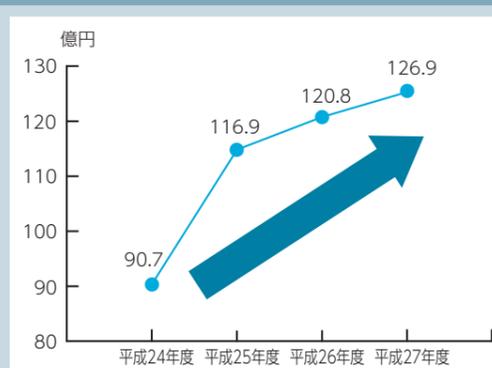
平成28年度予算の特徴

合併から10年、震災・原発事故から5年が経過し、本市発展の新たなステージを迎えた今、足元の資源をもつ一度見つめなおし、様々な施策を全力で実行していくため、「安定した雇用をつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「新しいひとの流れをつくる」を3本の柱として重点的に予算を配分しました。

市では、毎年6月と12月に財政状況をお知らせしています。今月号では、平成28年度当初予算、市債・企業債および基金の状況などをお知らせします。

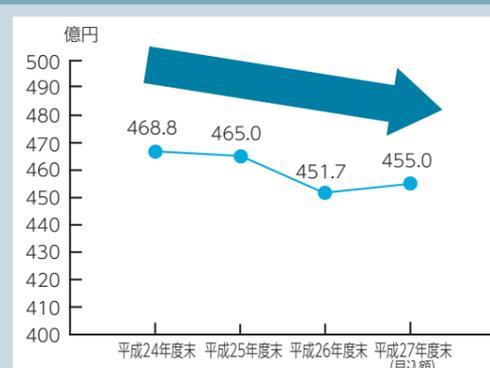


基金の状況



市の「貯金」に当たる基金は、住民福祉の向上や教育・文化の振興など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。

市債・企業債の状況



市の「借入金」に当たる市債（臨時財政対策債を除く）・企業債は、計画的に借入と返済を行うことで、減少傾向にあります。

平成28年度当初予算

お知らせ
News

大信地域市民交流センター
「ひじりん館」オープン

本庁舎農政課 内2222



完成間近の館内
(子ども広場)

《施設の概要》

- 場所 大信増見字北田（大信庁舎南東側）
- 内容 気軽に交流でき、地域の食を楽しむ施設
▷たいしんの幸商店/地元の農産物や加工品を販売
▷四季彩キッチン 田〜Den〜/パスタ類、豚丼、日替わり定食などを提供
▷集会室・和室/各種会合や発表の場として貸し出し
▷子ども広場/楽しく遊ぶことができる場所

《オープニングイベント》

楽しい催しが盛りだくさんのオープニングイベントを開催します。

●日時 7月2日(土)・3日(日)/午前10時から

《愛称公募の結果》

賞名	作品名	氏名
最優秀賞	ひじりん館	添田恵美さん
優 秀 賞	聖流の郷	森 芳夫さん
	ごんたくらんど	金子由加利さん

※大信地域居住者、通学・通勤者を対象に公募

《愛称ロゴ》



地域と人、人と人を結ぶ交流の場としての機能を、愛称の語源でもある「聖ヶ岩」

で盛んなロッククライミングのロープワークで表現しています。また、「じ」の濁点は、人口岩（ポールド）をイメージし施設の個性を表しています。

お知らせ
News

選挙権年齢が満18歳から
になります！

市選挙管理委員会 内2510



日本の未来を作り担う存在である若い世代の声をより多く政治に取り入れるため、平成28年6月19日以降に公示される参議院議員選挙から、18歳・19歳の方も投票することができますようになります。

より早く選挙権を持つことで、社会の担い手であるという意識を若いうちから持ってもらう、主体的に政治に関わる若者が増えてほしいということが目的です。

若者の投票率が低くなると、若者の声が政治に届きにくくなってしまいます。その結果、若者に向けた政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間が要する可能性があります。若者の力を社会・政治が必要としています。

18歳になると、今までは満20歳以上でなければできなかった選挙で投票することができ、さらに、インターネット等を利用した選挙運動をすることができるようになります。
「あなたの大切な一票」棄権しないで投票しましょう！

明るい選挙のイメージ
キャラクター
「選挙のめいすい」くん



詳しくは、総務省のホームページをご覧ください。模擬選挙や全国のワークショップなどを掲載しています。



南湖の歴史性を維持し賑わいを創出するために

Vol.2

歴史的風致維持向上地区計画の導入

南湖湖畔を散策し、新たな発見や良さを再認識してください。

南湖の歴史的風致を維持発展させ、四季を通じて公園内に賑わいを果たせるため、7月1日から施行される地区計画では、住居誘導から店舗誘導への用途の緩和、店舗の外壁等の形態意匠をきめ細かくルール化していきます。

今月号では、現在、南湖湖畔でお店を営む方々などの地区計画導入に対する感想や南湖に対する思いを紹介いたします。

本庁舎都市計画課 内2282



Interview①

南湖神社宮司 甲目公英さん

魅力ある地区になり、活気がうまれることを期待

長年、どうやって南湖に賑わいをもたらすかが課題でした。地区計画の導入により、規制が緩和され、南湖の地権者が建物を建築しようと思える魅力あふれる地区となり、活気がうまれることを期待しています。また、これを機に、志のある人が南湖で商売してくれるのではないかと期待も膨らみます。

南湖公園は白河の宝です。定信公が築造に当たって考慮した南湖の真髄をこれからも引き継ぎ、発展していかなければと考えています。



Interview③

楽楽「らくおう」 山田剛嗣さん

訪れた方が湖畔の店舗で食事し、元気になってほしい

今回期間限定ですが、南湖湖畔に店舗を借りています。地元の野菜をふんだんに使い、ちゅう房から見える南湖の景色に癒されながら、お客様に最高のイタリアンを提供しています。

四季折々の景観が楽しめる南湖に魅力を感じています。南湖を訪れた方が、地元の食材にこだわった湖畔の店舗で食事し、元気になって帰っていただくような場所であってほしいと願っています。



Interview②

水月 竹内さんご夫妻

思い出の地になるよう、心からのおもてなしを提供

南湖公園には、市内外から多くの方が訪れています。南湖の魅力に気づき、再び足を運んでいただいています。お客様から「店舗前のベンチに座っているだけでも心が癒される」といわれたときには、南湖を誇らしくも思います。

今回の地区計画導入により、南湖を訪れる多くの来訪者に思い出の地、また来たいと思っただけの場所になってくれたら嬉しいと思います。私たちが引き続き心からのおもてなしを提供していきます。



Interview④

ブラスリー ラ・セゾン 森田 進さん

南湖にしかない、南湖にしかできない魅力をPR

地区計画の導入を機に、四季を通じて定期的なイベントを開催し、南湖の魅力を多くの来訪者に知ってもらえたら嬉しいです。南湖の雰囲気は、他県の方々にも必ず魅力的に感じるはずですよ。

市が誇る美しい景観と白河地方で採れた新鮮な食材を用いた料理で、心と体を癒してほしいと思います。南湖にしかない、南湖にしかできない魅力をPRしていければと考えています。

ほろこのころ

作 本町かずこ

きもすけ悪い



雨降と、いっぺ〜出てくんだよなあ

(元白河地方広域市町村圏矢吹消防署長)



危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章
いがらしよしお
五十嵐良夫さん
(66歳 葉ノ木平)

(元市消防団分団長)



瑞宝単光章
こじまひろし
小島博さん
(67歳 愛宕町)

(元農林水産技官)



瑞宝単光章
たかにしまきお
高西牧男さん
(70歳 影鬼越)

平成28年春の叙勲



平成28年春の叙勲が発表されました。本市からは、3人の方がこれまでの功績を認められ受章されました。



南湖公園魅力再発見事業～お茶会～
4月24日/南湖公園「千世の堤」



県消防協会白河支部春季連合検閲
4月24日/表郷総合運動公園(表郷番沢)

話題を写真で紹介!

Snapshot



第8回大昭和まつり
4月29日/大工町・新蔵町・向新蔵周辺

季節の風景や地域のイベントなど、市民の皆さんが市内で撮影した写真を募集しています。投稿いただいた写真は、広報白河で紹介いたします。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

本庁舎秘書広報課 内2373



ダンロップ・スリクソン福島オープン

今年もダンロップ・スリクソン福島オープンが開催されます。トッププレイヤー150人が繰り広げる熱い戦いを、ぜひ会場でご覧ください。

- 日にち 7月21日(木)～24日(日)
- 会場 グランディ那須白河ゴルフクラブ(西郷村)
- 入場料 有料(大人同伴に限り高校生以下は無料)
※観戦にはチケットが必要です。詳しくはお問い合わせください。
- 送迎バス JR東北新幹線「新白河駅」高原出口(西口)より、会場まで無料送迎バスを運行します(所要時間約10分)。
- 駐車場 信越半導体(株)所有地(西郷村鶴生)
※駐車場より会場まで無料送迎バスを運行します(所要時間約15分)。

大会事務局(福島中央テレビ内) ☎024-923-4071



おめでとーじつになります
100歳
大正5年5月1日生まれ
鎌水キヨノさん(東深仁井田)



●本庁舎文化振興課 内2388

10月23日(日)の開館に向け進められている、工事の進捗状況をお知らせします。

《建物東側》



白河文化交流館コミネスの建設工事は、これから外装の仕上げ工事および内装工事へと移ります。まもなく、プロジェクションマッピングで彩られた外装工事用の足場が全て撤去され、建物の全容を見ることが出来ます。開館に向け、着々と工事が進んでいます。

《建物西側》



建物西側(小ホール側)は、ガラス張り工事が進められています。完成後、晴れた日は眼前に那須連峰が鮮やかに広がります。

《フライタワー》



施設のシンボルとなるフライタワーは、約30mの高さがあります。この部分は、大ホールの舞台上の吹き抜け空間で、どんちようや音響反射板などを吊り下げたまま収納できます。

～新刊の一部を紹介～

●一般図書



災害支援手帖

荻上 チキ

東日本大震災から5年が経ち、先日、熊本で大きな地震がありました。被災地にいない私たちに何ができるのでしょうか。過去の経験から被災地への支援を考えたとき、参考になる1冊です。



ドイツ夫は牛井屋の夢を見る

溝口シュテルツ真帆

国際結婚をした著者による、食を中心としたエッセイ。誕生日には自分でケーキを焼いてふるまうなど、ドイツと日本の食文化の違いから、異文化の面白さや難しさを感じられます。



古典落語知っているようで知らない噺のツボ

柳家 花緑ほか

関東の落語が4人の噺家により口語文として収録されています。「江戸の言葉や文化、生活を「時そば」などの噺を含めて説明していて、実際に落語を聞くときの予習になります。

●児童図書



なぞなぞ学

～起源から世界のなぞなぞ・なぞかけのつくり方まで～

稲葉 茂勝

なぞなぞの歴史や、なぞなぞに関する疑問を調べたい、世界のなぞなぞに挑戦したい、自分で作ってみたい、そんな時におすすめの本です。この本を読んだ、なぞなぞ博士を目指そう。



地球パラダイス

工藤 直子

著者の詩に、石井聖岳さんの優しい絵が溶け込んでいて、ページをめくるたびにわくわくした気持ちになります。花や草や虫たちの春夏秋冬を感じながら、親子で読んでほしい1冊です。

●子ども向け催し案内
《ちびっこおはなしのくに》
▽日時 6月16日(木)、7月7日(木) / 午前11時～11時30分
▽会場 おはなしの小屋
▽対象 0歳～3歳程度

●本の展示
毎月、季節に合わせた本を展示しています。ぜひ、ご覧ください。
《大人向け》
▽テーマ 「さあ、本から冒険へ出かけよう！」
季節は梅雨。お出かけできない日には、本で冒険気分を味わってみてはいかがでしょう。名作冒険小説から、世界の秘境、探検家や冒険家の紀行文など、冒険心をくすぐられる本を集めました。
《子ども向け》
▽テーマ 「音も楽しむ雨の本」
ぽつぽつ、ザーザー、雨にはいろいろな音がありますね。みんなはどんな音を知っているかな。雨の本や音を楽しむ本を集めました。

●図書館からのお知らせ
《第40回児童読書感想画展》
子どもたちが本を読んだ後のイメージを描いた読書感想画の展示を行います。
▽日時 6月2日(木)～12日(日) / 午前9時～午後9時 ※最終日は午後6時まで
▽会場 りぶらん地域交流エリア
《地域交流会議室第3回半期受付》
▽申請可能な利用期間 10月～12月分
▽申請受付日時 7月7日(木)～17日(日) / 午前9時～午後5時15分(休館日を除く)
※受付は窓口でのみ行います。重複した場合は抽選となります(先着順ではありません)。期間内に申請がなかった会議室は、8月4日(木)から随時申請を受け付けします。

●映画上映案内
市立図書館りぶらん多目的ホールで上映される映画で、入場無料です。
《大人向け》
▽内容 「そして、父になる」
▽日時 6月15日(水) / 午後6時～8時
▽内容 「おかえりはやぶさ」
▽日時 7月2日(土) / 午後1時30分～3時30分
《子ども向け》
▽内容 「むかしはなし③ さるかにか」
▽日時 6月18日(土) / 午後1時30分～2時

《おはなし会》
▽日時 6月25日(土)、7月9日(土) / 午前11時～11時30分
▽会場 おはなしの小屋
▽対象 3歳～小学生程度

《絵で見るおはなしの会》
6月4日(土)、7月2日(土) / 午前11時～正午
【東図書館】 ☎④1130
▽開館時間 10:00～18:00
▽休館日 祝日、火曜日、月末日
《図書館で遊ぼう》
毎日 / 視聴覚室使用日を除く
※0歳～7歳対象



【りぶらん】 ☎③3250

▷開館時間 平日 / 10:00～20:00 土・日・祝日 / 9:30～18:00

▷休館日 月曜日、第1水曜日 ※祝日の場合は開館し、翌日は休館

【表郷図書館】 ☎③4784

▷開館時間 10:00～18:00

▷休館日 祝日、火曜日、第1水曜日 《おはなし、よんで!》 毎週土曜日、水曜日 / 随時 ※0歳～小学生対象

【大信図書館】 ☎④3614

▷開館時間 10:00～18:00

▷休館日 月曜日、第1水曜日、祝日の翌日 《絵で見るおはなしの会》 6月4日(土)、7月2日(土) / 午前11時～正午

【東図書館】 ☎④1130

▷開館時間 10:00～18:00

▷休館日 祝日、火曜日、月末日 《図書館で遊ぼう》 毎日 / 視聴覚室使用日を除く ※0歳～7歳対象



会長 矢野正則さん

丹精込めて栽培した作物を無駄にしないように、完熟した野菜・果実をジュースに加工することで、農家をサポートしていただけます。数多くの方に飲んでいただけるよう、味の改良をしていきたいと思っております。

本庁舎農政課 内2225

白河ブランド プレミアム「白河ジュース」	
認証第21号	「トマト」
認証第22号	「もも」
認証第23号	「りんご」
認証第24号	「人参」



農産物直売所アグリパーク出荷者友の会 白河が誇る優れた産品を紹介！

市内白坂で栽培された「トマト(桃太郎)」「人参」久田野で栽培された「もも(あかつき)」「りんご(ふじ)」を、まる絞りした完熟果汁100%ジュースです。一番おいしい時期の完熟したものを味わってもらうため、素材の味を損なわないよう、余計なものは何も入れずシンプルに仕上げています。

「トマト」「もも」は、濃厚な味わいのため、そのまま飲むだけでなく、料理の隠し味に使うと、味に深みが増します。また「人参」は、にんじんとりんごのミックスで、子どもでも飲みやすい、あっさりとした味です。

それぞれの素材の味を濃縮した濃密な味わいを、ぜひお試しください。

源翁和尚は、常在院(表郷中寺)を開いた曹洞宗の僧侶で、那須の殺生石伝説にまつわる人物としても知られます。

《生い立ちと経歴》
和尚は、現在の新潟県に生まれました。5歳の時、新潟の古利国上寺(陸上寺)で出家します。全国を遍歴し、鳥取、栃木、茨城と、行く先々で寺院の創建に関わりました。その後福島に入り、白河に常在院を、喜多方に慶徳寺・示現寺を開きました。さらに山形、新潟、秋田、岡山などを歴遊し、開いた寺院は合計22箇所にのぼります。

文化財課 ☎2310



殺生石

常在院の境内に現存する、殺生石のかけらと伝えられる石。

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol.2

白河に伝説をのこす名僧
源翁
(生年不詳〜1396)



木造源翁和尚坐像
(常在院蔵、県指定文化財)

説に1374年に開かれ、寺には和尚の行いを描いた絵巻と文書、木造の坐像が伝えられています。また、境内の裏手にのこされている巨石は、「殺生石」の一つとされています。

《殺生石の伝説》
平安時代、宮中に現れて帝を呪い殺そうとした妖狐は、那須野が原で退治されました。その怨念は毒を放つ殺生石と化し、生き物を苦しめていました。和尚が仏法を説いて供養し、石は打ち砕かれました。そのとき飛び散ったかけらの一つが常在院に飛来したと伝えられています。

なお、金づちのことを「玄能」と呼びますが、これは和尚が殺生石を砕く際に用いたことが語源とされます。

Facilities information

施設情報

▶歴史民俗資料館 (中田7-1 / ☎2310)

【利用案内】

- 開館時間 午前9時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日
- 入館料 無料

【催し案内】

◇平常展示 「白河の歴史と文化」

▶白河集古苑 (郭内1-73 / ☎245050)

【利用案内】

- 開館時間 午前9時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日
- 入館料 大人320円(250円) / 小中高生100円(80円)
※()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

【催し案内】

◇阿部家名品館

「伝来の遺宝と絵画・陶磁器」

- 会期 6月26日(日)まで

◇結城家古文書館

「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」

※館内修繕工事・展示替えのため、6月27日(月)から7月7日(木)まで休館します。

▶総合運動公園 (北中川原30 / ☎28971)

《スポーツ教室》

参加料を添えて、中央体育館にお申し込みください(電話受付不可、すべて先着順)。

◇合気道教室

- 日時 6月19日～7月17日 毎週日曜日
計5回 / 午前9時～10時30分

- 場所 武道館(向新蔵)
- 対象 小学生 15人
- 参加料 1,500円
- 申込期間 6月6日(月)～13日(月)

- 日時 6月22日～7月27日 毎週水曜日
計6回 / 午後6時30分～8時30分

- 場所 中央体育館(北中川原)
- 対象 中学生以上一般男女 30人
- 参加料 1,500円
- 申込期間 6月8日(水)～15日(水)



青花鳳凰文天皿

◇アーチェリー教室

- 日時 6月25日、7月2日・16日・23日・30日 土曜日 計5回 / 午後6時～8時30分

- 場所 すぱーく白河(北中川原)
- 対象 小学4年生以上一般男女 10人
- 参加料 2,500円
- 申込期間 6月10日(金)～17日(金)

▶市民会館 (手代町22-1 / ☎23718)

◇白河民舞愛好会発足50周年記念大会「市民民舞の集い」

- 日時 6月12日(日) / 午前10時30分から
- 入場料 無料 ※要整理券

募集

白河地方広域市町村圏
整備組合職員採用試験

《平成29年度採用》
●職種・採用人員 行政事務
(大学卒程度) 若干名
●資格 昭和56年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方(学歴・性別不問)
●第一次試験日 7月24日(日)
●会場 福島大学(福島市金谷川)
●申込期限 6月24日(金)まで
●提出先 白河地方広域市町村圏整備組合事務局総務課(立石山)
※郵送での申し込みは、6月22日(水)までの消印有効です。申込書は、同総務課で配布しています。

福島大学白河サテライト
イト教室前期講座

同総務課 ☎21145
●テーマ 「ヨーロッパと東アジアの近代史と現在」
●日時 7月9日(土)・18日(祝)

第2回街なか定期座禅会

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築くことを目的としています。運動の一環として、マスケットキョウクター「更生ペンギンのホグちゃん」のポスター掲示など啓発活動を行います。
●日時 7月2日(土)／午前8時から
●会場 月心院(金屋町)
●定員 20人 ※先着順
●参加料 500円
●申込方法 事前に電話でお申し込みください。
●申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2743

お願い

市内一斉清掃

市民総ぐるみ市内一斉清掃を行います。皆様のご参加・ご協力をお願いします。
●日時 7月3日(日)／午前7時から ※小雨決行(荒天の場合は中止)
●本庁舎生活環境課 内2164 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎2111 大信 ☎462111 東 ☎2112

ライトダウンキャンペーン

環境省では身近な明かりを消して地球温暖化について考える「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。
特別実施日の6月21日(火)(夏至の日)、7月7日(木)(クールアース・デー)の両日は、午後8時から10時まで、自主的に一斉消灯のご協力をお願いします。
●本庁舎生活環境課 内2164

案内

男女共同参画週間

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。今年は「意識をカイク。男女でサンカク。社会をヘンカク。」をキャッチフレーズに、男性と女性が、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向け、国などで様々な取り組みが行われます。
●内閣府男女共同参画局総務課 ☎03-5253-2111

第9回「白河市民芸能大会」

●日時 7月9日(土)／午後0時30分から
●会場 市民会館(手代町)
●内容 市文化団体連合会の加盟団体による民謡や民舞など伝統芸能の発表
●入場料 無料
●本庁舎文化振興課 内2384

社会を明るくする運動

7月4日(月)／午後2時30分から
●会場 市民会館(手代町)
●内容 市内中学校8校の代表による「少年の主張」、青少年健全育成成功者・優良団体等の表彰など
●入場料 無料
●本庁舎文化振興課 内2383

青少年健全育成推進大会

7月5日(火)／午後1時～3時
●日時 7月5日(火)／午後1時～3時
●会場 矢祭町山村開発センター(矢祭町大字小田川)
●相談内容 補聴器の処方、操作方法、医師の診察および医療相談
●持参品 身体障がい者手帳(お持ちの方) および印鑑
●本庁舎社会福祉課 内27

聴覚障がい者巡回相談会

7月4日(月)／午後2時30分から
●日時 7月4日(月)／午後2時30分から
●会場 市民会館(手代町)
●内容 市内中学校8校の代表による「少年の主張」、青少年健全育成成功者・優良団体等の表彰など
●入場料 無料
●本庁舎文化振興課 内2383

第5回わくわく! キッズ☆カルチャースクール

小・中学生を対象とした夏休み習い事教室を開催します。
●日時 7月24日(日)・31日(日)、8月7日(日)／午前10時～正午
●会場 中央公民館(天神町)、りぶらん地域交流会議室(道場小路)
●内容 囲碁や将棋、いけばな、合唱などの文化教室
●募集期間 6月24日(金)～7月8日(金)
※教室の詳細はお問い合わせください。学校よりチラシが配布されます。
●本庁舎文化振興課 内2384

第2期福島県文化振興財団助成事業

県では、文化活動支援を目的に、8月1日(月)から11月30日(水)までに行う次の対象事業の助成申請を受け付けます。
●対象事業 県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動(成果発表事業、発表会等への参加事業、文化財の保護事業など)

水道管の漏水調査

市では、水道の漏水を防止するため、公道および宅地内(止水栓まで)の水道管の漏水調査を行います。公道は夜間に、宅地内は日中に調査を実施しますので、ご協力をお願いします。なお、調査員は、水道部の腕章および身分証明書を持っています。
●調査期間 6月1日(水)～9月30日(金)
●水道部 ☎272541

東京電力(株)からのお知らせ

東京電力(株)では、原子力損害賠償の相談窓口を開設しています。7月1日(金)より、相談窓口の開設時間を変更いたします。
●開設時間 月・水・金曜日／午前9時～午後3時
●場所 白河相談窓口(高山西)
●福島原子力補償相談室 ☎0120-9261404

案内

金婚夫婦の表彰

県老人クラブ連合会と福島民報社では、金婚式を迎える夫婦を表彰しています。

● 該当者は、昭和41年1月1日から12月31日までに結婚された夫婦です。表彰を希望される方は本庁舎高齢福祉課、各庁舎地域振興課または各老人クラブにお申し込みください。なお、昨年まで申し込みをされなかった金婚夫婦も受け付けています。

● 申込期限 7月15日(金)まで
● 本庁舎高齢福祉課 内2722

大相撲白河場所
「チケット好評販売中」

8月8日(月)、市中央体育館(北中川原)で「大相撲白河場所」が開催されます。力士たちの力強い取組のほか、本場所では見られない初切や相撲甚句なども行われますので、この機会にぜひご覧ください。現在、次の窓口でチケット

介護保険負担限度額認定

介護保険施設等を利用する低所得の方に対し、負担軽減制度があります。対象の方はお申し込みください。

● 要件 ①本人および同一世帯の方全てが住民税非課税者であること ②本人の配偶者(別世帯も含む)が住民税非課税者であること ③預貯金等合計額が、単身者は1千万円以下、配偶者がいる場合は両者で2千万円以下であること(金融機関への照会を予定しています)

● 受付期間 6月15日(水)～7月15日(金)
● 申請方法 申請書類を本庁舎高齢福祉課または各庁舎地域振興課に提出するか、郵送してください。

● 申請書類 負担限度額認定申請書、同意書、預貯金等の額が分かるもの、非課税年金の額および種別がわかるもの ※前年度認定者には申請書を送付します。また、申請は代理でも行うことができます。詳しくはお問い合わせください。

を販売しています。販売窓口ごとに取り扱い席種等が異なりますので、詳しくは、ホームページをご覧ください。

● チケット販売窓口 白河商工会議所、表郷商工会、大信商工会、ひがし商工会、市中央体育館、白河観光物産協会、うすい百貨店、セブンチケット

● 本庁舎企画政策課 内2326

マイナンバーカード申請用証明写真機の設置

マイナンバーカード(個人番号カード)の写真撮影から申請までを一括して済ませることができ、証明写真機を設置しました。

マイナンバーカードは、公的な身分証明書になるほか、今後、納税や年金受給などの行政手続きの簡素化を図ることができるとのことです。

● 設置場所 本庁舎正面玄関
● 利用日時 平日/午前8時30分～午後5時15分、日曜日(連休の場合は最終日)/午前8時30分～正午
● 利用料金 800円から(撮影モードにより異なります)

● 申し込み・問い合わせ先 本庁舎高齢福祉課 内2738

まちかど

切り絵屋梨々
「焦香の切り絵展」

● 日時 6月18日(土)～7月2日(日)/午前10時～午後10時 ※木曜定休日
● 会場 コミュニティ・カフェEMANON(本町)
● 入場料 無料
● コミュニティ・カフェEMANON ☎080-1181312545

デューク更家ウォーキング
「グレースン&家庭の医学」

● 日時 7月10日(日)/午後2時～4時
● 会場 アナビーススポーツラザ(北中川原)
● 講師 デューク更家氏
● 参加料 4,320円
● 申し込み・問い合わせ先 デューク更家ウォーキング事務局 鈴姫 ☎090-1149510672/FAX ☎5541

す)

※ご利用の際には、通知カードを必ずお持ちください。
● 本庁舎市民課 内2159

Uターン就職面接交通費補助

採用面接に要した交通費の一部を補助します。

● 対象者 市内企業の求人に応募し、県内で面接を受けるUターン希望者
● 補助金額 居住地から面接地までの交通費(上限1万円、1人につき2回まで)
● 申請方法 採用面接後、30日以内に申請してください。 ※詳しくはお問い合わせください。

● 申し込み・問い合わせ先 本庁舎商工課 内2247

小野田小児童増加促進
対策「宅地分譲事業」

若年層の定住化等を図るため、一定期間居住後に無償譲渡となる宅地分譲事業を行います。
● 事業概要 15年間は賃貸借契約(1㎡あたり月額15円)、その後無償譲渡契約となります。また、5区画全てに譲渡

白河法人会・立教志塾共催
「公開講演会」

● 日時 6月16日(木)/午後3時30分から
● 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
● 内容 「講演「最近の世界情勢と日本」」▽講師 杏林大学名誉教授 田久保忠衛氏
● 参加費 無料
● (公財)立教志塾 ☎1427

しらかわ福祉まつり

● 日時 6月19日(日)/午前10時～午後2時
● 会場 すぱーく白河(北中川原)
● 内容 ダルライザー・しらかわんの来場、高齢者疑似体験、パトカー乗車体験、授産施設展示販売、演芸など
● 社会福祉協議会 ☎1159

中心市街地活性化事業
「ミニコンサート」

《シャンソン歌手 紗羽しゅうこ》
● 日時 6月19日(日)/午後4

予定者が決定しない場合、事業は実施しません。
※詳しくはお問い合わせください。

● 応募要件 ①現在、白河市以外に居住していること ②小学生以下の子どもがいること ③分譲契約から1年以内に住宅の着工をすること

● 場所・区画数 東下野出島字小丸山内/5区画
● 申込期限 8月31日(水)まで
● 申し込み・問い合わせ先 東庁舎地域振興課 ☎342111

法務局登記相談の予約制

福島地方法務局では、待ち時間解消のため、登記相談を予約制としましたので、事前にお申し込みください。
● 福島地方法務局白河支局 ☎1201

土地改良区賦課金

市土地改良区的一般および維持管理賦課金の納入期限は6月30日(木)です。納期内に忘れずに納入してください。
● 同事務局 ☎1158

時～5時

● 会場 えきかふえSHIRAKAWA(郭内)
● 入場料 無料
● 福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-149617610

白河の関ほたるまつり

● 日時 6月25日(土)/正午から ※小雨決行(荒天の場合中止)
● 会場 関の森公園(旗宿)
● 入場料 無料
● 内容 ステージイベント、ほたる鑑賞会
● 白河の関ほたるまつり実行委員会 大竹 ☎090-1279918842

白河まちなか逸品
「ちよい飲みツアー」

● 日時 6月28日(火)/午後7時～9時
● 定員 15人 ※先着順
● 参加料 2,400円
● 申込期限 6月24日(金)まで ※コースは当日発表します。
● 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎3101



健康増進課(中央保健センター) ☎2112

個別検診のお知らせ～年に1度は検診を～

6月22日(水)から「個別検診」の申し込みを開始します。受診を希望される方は、医療機関に直接お申し込みください。

個別検診の種別	個別検診の期間
生活習慣病予防健診、胃がん、肺がん、肝炎ウイルス、前立腺がん	7月1日(金)～10月31日(月)
大腸がん、乳がん、子宮頸がん	7月1日(金)～12月22日(木)

- 受診の際は、保険証と特定健診受診券（国保の方で特定健診を受ける方）を持参してください。
- 実施医療機関および料金等は「平成28年度市民検診のお知らせ（保存版）」をご覧ください。

禁煙にチャレンジ

喫煙は健康に大きな影響を与えます。がんや呼吸器疾患の発症に関わり、生活習慣病の大きな要因にもなっています。

禁煙にチャレンジしてみませんか。禁煙外来は自力での禁煙に比べ、薬物療法や行動療法等により禁煙しやすいメリットがあります。

また、一定の条件を満たせば、保険が適用されます。詳しくは、お問い合わせください。

7月の健康相談のお知らせ

成人の方を対象に「健康相談」を行っています。お気軽にご相談ください。なお、健康手帳をお持ちの方は、ご持参ください。

- 《白河地域》
 - 日時・会場 7日(木) / 13:15から / アナビースポーツプラザ
- 《表郷地域》
 - 日時・会場 6日(水) / 9:30から / 表郷保健センター
 - 6日(水) / 13:30から / 犬神集落センター
 - 11日(月) / 9:30から / 高木集会所
 - 20日(水) / 9:30から / 上願ふれあいセンター
- 《大信地域》
 - 日時・会場 27日(水) / 10:00から / 大信保健センター
- 《東地域》
 - 日時・会場 20日(水) / 9:30から / 東保健センター

夏の蚊の対策

中南米で感染が広がっている「ジカウイルス感染症」は、ジカ熱とも呼ばれ、ジカウイルスを持った蚊に刺されることにより生じる感染症です。

ジカ熱で健康な人が死に至ることはまれですが、基礎疾患があり免疫力が低下している人や、妊婦は注意が必要です。

夏の蚊の対策として、発生源となる不要な水たまりは除去しましょう。蚊の多い場所では長袖、長ズボンを着用し、蚊に刺されないように注意しましょう。また、防虫スプレーなどの使用も効果的です。

海外の流行地域へ渡航する際は、特に注意が必要です。妊婦や妊娠の可能性のある方は、流行地への旅行を避けることが望ましいです。



児童手当の現況届

児童手当を受給している方は、毎年6月に「現況届」の提出が必要です。この届出は、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

現況届の提出がない場合は、6月分以降の手当が受けられなくなりますので、ご注意ください。

- 受付場所・期間
 - ▷ 本庁舎こども育成課特設窓口（1階ロビー）
 - ・各庁舎地域振興課
 - 6月1日(水)～30日(木) ※平日のみ
 - ▷ 各行政センター
 - 6月1日(水)～21日(火) ※平日のみ
- 受付時間 午前8時30分～午後5時15分
- 持参するもの
 - 現況届（6月上旬に郵送します）、印鑑、請求者（保護者）本人の健康保険証のコピー、平成28年1月2日以降に転入された方は、平成28年1月1日に住所があった市区町村から取得した「平成28年度児童手当所得証明書」
 - ※児童の住所が本市以外の場合や児童と別居している場合など、状況に応じて他の書類の提出が必要になる場合があります。

本庁舎こども育成課給付係 内2732 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎2114 大信 ☎463974 東 ☎342113



子どものむし歯予防

乳幼児期は、むし歯になりやすい時期です。特に、生えて間もない乳歯や永久歯は、石灰化の進行が十分でなく弱いため、むし歯になりやすい状態です。そのため、この時期は、保護者の「仕上げみがき」が不可欠で、おやつあげ方や食習慣への配慮も大切です。乳歯のうちから、むし歯予防の正しい知識を身につけ、歯を大切にしましょう。

《むし歯予防の3原則》

- 菌を付着させない
 - 乳幼児期から、食べたらみがく習慣をつけましょう。「仕上げみがき」も毎日行い、むし歯菌と歯垢を除去しましょう。
- 酸を作らせない
 - 砂糖を含む食べ物や飲み物を口にするたびに、むし歯菌が作り出す酸で、歯は溶けやすい状態になります。おやつ回数、ダラダラ食いに注意しましょう。
- 歯を溶かさせない
 - フッ化物は、歯の質を強くし、むし歯になりにくくする効果があります。フッ化物で、歯を強化しましょう。



7 月休日救急医療当番医

歯科	医療機関名	住所	電話番号
3日(日)	たまち歯科医院	矢吹町田町	④4889
10日(日)	佐久間歯科医院	矢吹町本町	④3118
17日(日)	佐藤歯科医院	中山南	②31184
18日(祝)	鈴木歯科医院	立石	②6191
24日(日)	円谷歯科医院	北中川原	②71255
31日(日)	すずき歯科	矢吹町八幡町	④5555

内科・外科	医療機関名	住所	電話番号
3日(日)	いがらし内科クリニック	老久保	②19111
10日(日)	宇都宮クリニック	北真舟	③11570
17日(日)	大高整形外科	昭和町	②39988
18日(祝)	片倉内科胃腸科クリニック	立石	②72770
24日(日)	大高内科胃腸科	道場小路	②41456
31日(日)	片倉医院 産科・婦人科	昭和町	②2459

小児科	医療機関名	住所	電話番号
3日(日)	樋口小児クリニック	矢吹町大久保	④2040
10日(日)	みうら小児クリニック	白坂	②81001
17日(日)	わたなべ子どもクリニック	老久保	②12166
18日(祝)	ねもとキッズクリニック	立石山	②15623
24日(日)	岡崎小児科内科医院	結城	②37811
31日(日)	関 医 院	横町	②33003

小児平日夜間救急外来

- ▷ 診察日 平日 / 午後7時30分～9時30分
- ▷ 場所 白河厚生総合病院小児科外来（豊地）
- ※ 受診前に必ず電話し、「小児平日夜間救急外来」とお伝えください。
- ▷ 問い合わせ先 同病院 ☎2211

受診に迷ったときは

☎ #8000 / 午後7時から翌朝8時まで

家が倒れた。道が壊れた。城が崩れた。熊本地震に胸がえぐられる。特に熊本城の被害は気が遠くなるほど。熊本市やマスコミから、小峰城復旧の問い合わせが相次ぐ。震災後、私たちは手探りの中、ひとつひとつ壁を乗り越え、知見を蓄えてきた。城は誇りと文化の象徴。だからこそ、時間と労力をかけ、じっくり取り組むよう、本市の体験を伝えたい。

橋の崩落にも息をのんだ。橋は人を運び、荷を運び、情報を運ぶ。急峻な地形の日本には河川が多い。海上には米粒のような島が連なる。これをつなぐ橋は、暮らしに欠かせない。一日も早い再建を切望する。

一方、橋には文化的意味がある。此岸と彼岸の異質な世界をつなぐ。何かが出会い何かが生まれる。古代から「はし」という言葉はある。橋・梯・端・箸の漢字があてられた。梯は神と人を縦に結び、橋は人と人を水平に結ぶ。箸は食と口の間に渡す。端は出入り口。人と人、時間と場所の隔たりを表わす間を「はし」と読む説もある。橋は、宗教・美術・文学と深く関わり合っている。

『橋の意味するもの』



橋は境界である。広重の江戸名所百景には、よく太鼓橋が出てくる。人が通れないほど半円形に湾曲している。大阪の住吉大社はさらに急カーブ。鶴岡八幡宮も白河の鹿嶋神社も容易に渡れない。渡ることを拒否しているようにも見える。太鼓橋は人と神の世界を分けている。だから神社の入口に置かれる。

橋を渡るとは別の世界への旅立ちになる。東海道五十三次が、江戸日本橋に始まり、京の三条大橋で終わるのは、決して偶然ではない。別の世界とは、日常性を超えたものであり、しばしば異形の者と出会う場となる。牛若丸が荒法師弁慶と会ったのが、寺ではなく、五条大橋なのもこれを暗示している。

近松門左衛門の傑作の「心中天網島」。義理と愛に縛られた治兵衛と小春の道行き。クライマックスが、名残りの「橋づくし」。天神橋、梅田橋、天満橋……。ひとつつ橋を渡るたび冥土に近づく。山の端が白くなる頃、終焉の地網島へ。橋は生と死の境界になる。

橋は出会いと別れの場。藤沢周平に「橋ものがたり」という短編がある。様々な人が、行き交う江戸の橋を舞台として、男と女の出会いと別れが描かれる。町の様子や、懸命に生きる市井の人々の喜怒哀楽が、いきいきしている。まるでその時代に入り込んだようだ。

橋は造形美の象徴。京都の渡月橋。曇りがない夜空に、月がさながら、橋を渡るように見えたことに由来する。ゆったりした桂川の流れ。桜・紅葉と季節ごとに見事な色を織りなす嵐山。この橋は景勝地の風景のひとつに納まり、自らを誇示していない。黄金分割になっている嵐山と渡月橋は、美しさが際立つ。

岩国の錦帯橋。清流錦川にかかる五連の木造アーチ橋は、大きく美しい。上は頑丈な組木、下は堅固な石垣積み。城を造る気概と技術の粋をこらした。河原から見ると空に虹が架かったよう。まわりの景観を従え、堂々としている。

心に残る橋もある。面影橋。都内で唯一残る路面電車の、早稲田駅にほど近い。神田川にかかる小さく特徴のない橋。だが懐かしいチンチン電車の風景と音。甘く切ない南こうせつ「神田川」の世界。これらが交じり合い、叙情的な雰囲気醸し出している。

アメリカ橋。目黒と恵比寿の間の跨線橋。米国万博で展示された橋を買い取り架設した。何の変哲もない。それが山口洋子の詩でドラマになる。かつての恋仲が偶然再会する。青春のひと時を思い起こすが、元に戻るには時がたち過ぎていく。昼と夜が交わる黄昏時。未練を振り切るよう、コートのかばんを立て橋を渡る。神田川もアメリカ橋も、私の好きな曲だ。

《7月の日曜窓口》(本庁舎)
 ▷日時 3日(日)・10日(日)・18日(祝)・24日(日)・31日(日)
 午前8時30分～正午
 《納期限》6月30日(木)
 ◇市県民税(全期前納・第1期)

《5月1日現在の人口》
 ▷人口 62,001人(-33)
 男 30,705人
 女 31,296人
 ▷世帯 23,411世帯(+36)
 ※()内は前月比

《市営住宅の募集》
 市営住宅の募集は、毎月15日に発表しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



7月の献血

実施日	実施事業所	住所	時間
7日(木)	街頭献血キャンペーン JR白河駅前イベント広場	郭内	10:30~18:00

7月の無料相談

種類	開設日	時間	会場・問い合わせ先	内容
弁護士法律相談 (要予約)	5日(火)	10:00~12:00	●東農業技術センター ☎東庁舎地域振興課 ☎2111	多重債務、離婚・相続問題などの法的なトラブル、被災者の抱える二重ローン問題の相談など
	6日(水) 20日(水)	①10:00~12:00 ②13:00~16:00	●本庁舎地下第1会議室 ☎本庁舎生活環境課 内2168	
	13日(水)	10:00~12:00		
	27日(水)	13:00~16:00		
市民あったか相談所	月~金曜日	8:30~17:15	●本庁舎生活環境課(1階) ☎本庁舎生活環境課内専用電話 ☎21717	市行政等に関する相談
心配ごと相談	12日(火) 26日(火)	10:00~12:00	●中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原) ☎社会福祉協議会 ☎4222	生計、家族に関する事など
障がい者相談会 (要予約)	26日(火)	13:30~	●本庁舎地下第1会議室 ☎本庁舎社会福祉課 内2714	障がいに関する相談
心の健康相談 (要予約)	20日(水)	13:30~15:00	●県南保健福祉事務所(郭内) ☎県南保健福祉事務所 ☎5649	うつ状態、ひきこもりなどに関する事
認知症の人と家族の会	24日(日)	13:30~15:30	●中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原) ☎同県南地区事務局 ☎2394	認知症本人と家族の相談や話し合いなど
ハートライン (いじめ相談電話)	月~金曜日	9:00~18:00	☎ハートライン相談専用電話 ☎0800-800-1893(フリーダイヤル)	児童・生徒のいじめ等に関する相談

《善意の窓》
<愛の基金>
 ♥1万円 鈴木晴彦 様(東釜子)
 ♥10万円 田代剛己 様(昭和町)
 ♥2万円 矢吹賢則 様(東釜子)
 ♥3万円 中山康子 様(五番町川原)
 ♥5千円 金勝寺ボランティア 佐藤 力 様(金勝寺)
<小峰城城郭復元基金>
 ♥5万円 佐川庄一 様(板橋)
 ♥20,489円 太鼓のぼお 芳賀 一 様
 ♥13,327円 東大沼地区テレビ共聴組合 様
 ♥100万円 匿名 様
<学校給食への提供>
 ♥小松菜 江戸川区学校給食友の会 代表 小原英行 様
<スポーツ振興基金>
 ♥8万円 鈴木隆司税理士事務所 様
<仮設住宅等支援者>
 ♥日本カイロプラクターズ協会 様

(4月分)

締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

第2回

ラーメン処菊忠



住所：北中川原146
営業時間：11:00～（スープが無くなり次第終了）
定休日：不定休

昭和26年、菊地二三さんが白河ラーメンの元祖「亀源」の木伏源松さんから指導を受け「菊忠食堂」として桜町に創業。その後、息子の敬一さんが2代目としてお店を引き継ぎ、現在の北中川原に「ラーメン処菊忠」を構えました。現在は、敬一さんの息子で3代目の構道さん（35歳）がお店を任されています。

「伝統の味を大切にして、新しい味にも挑戦したい。ラーメンのことを考えると、素材や味の創造が膨らんで眠れなくなる」と話す構道さん。試行錯誤を繰り返しながら、最高の一杯を目指し、日々挑戦を続けています。「お店を任せられてから基本的には何も変えていない」と話しながらも、素材へのこだわりを語るその様子からは、ラーメンに対する熱い情熱が感じられます。

ラーメンは醤油と味噌の2種類。醤油ラーメンは、鶏がらから丁寧に作られた創業時からの伝統の味、味噌ラーメンは2代目が作り上げた新しい定番の味。麺は3日かけて作り上げる自家製の手打ち麺。伝統の味を守りつつ、素材の質にこだわった一杯を作っています。

人物Report

～注目のあの人を紹介～

ふじしま みゆう
藤島 美優さん

4月15日・16日に行われた「プロジェクトマッピング2016はるか」で、映像に合わせて迫力ある生演奏を披露した「大信こだま太鼓」。4歳から63歳の総勢24人で活動しています。

そのメンバーの一人、藤島美優さん（大屋小5年）は、「もっとたくさんの曲を覚えて、皆の前で演奏したい」と笑顔で話してくれました。

練習では、美優さんの影響で太鼓を始めた祖父の豊さんと向かい合い、会話するように太鼓を叩く姿が印象的でした。



1. リリしい表情で演奏する美優さん 2. 祖父の豊さんと 3. 「大信こだま太鼓」のメンバー

《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《i 広報紙》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック

「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。